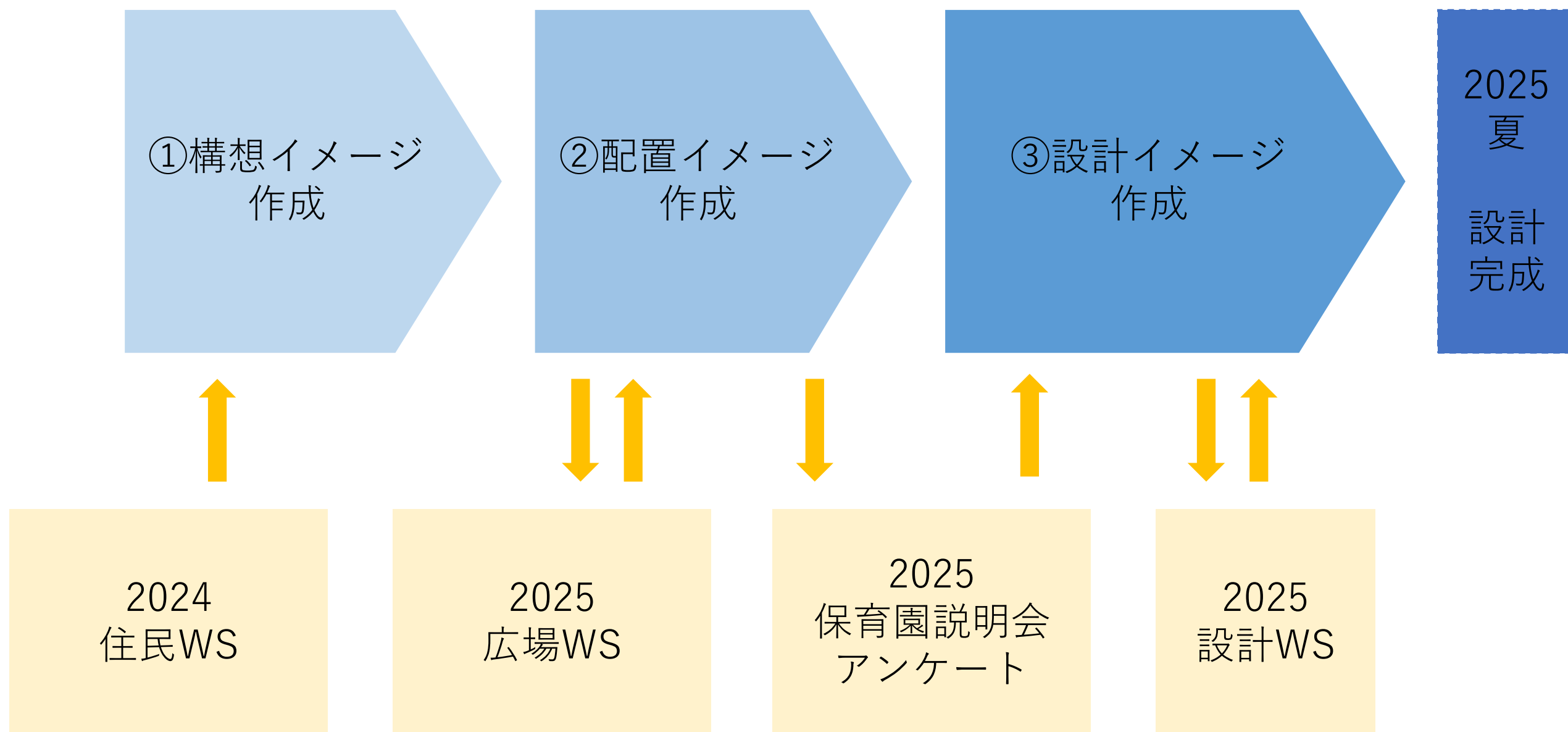


夕陽コミュニティグループでは、鶴岡市道の駅あつみ移転整備事業への応募にあたり、公共施設としての役割を充足する機能として「大型遊具をメインとする屋外遊び場」の整備を提案し、採択されました。
屋外遊び場の設計においては、住民WS等の市民対話を重ね、利用者目線での検討を行いました。



① 屋外あそび場 構想イメージ

道の駅のテーマのひとつ「親子3代家族連れで楽しめる道の駅」を実現するため、何度も訪れたくなる居心地の良さを重要視した構想を検討しました。

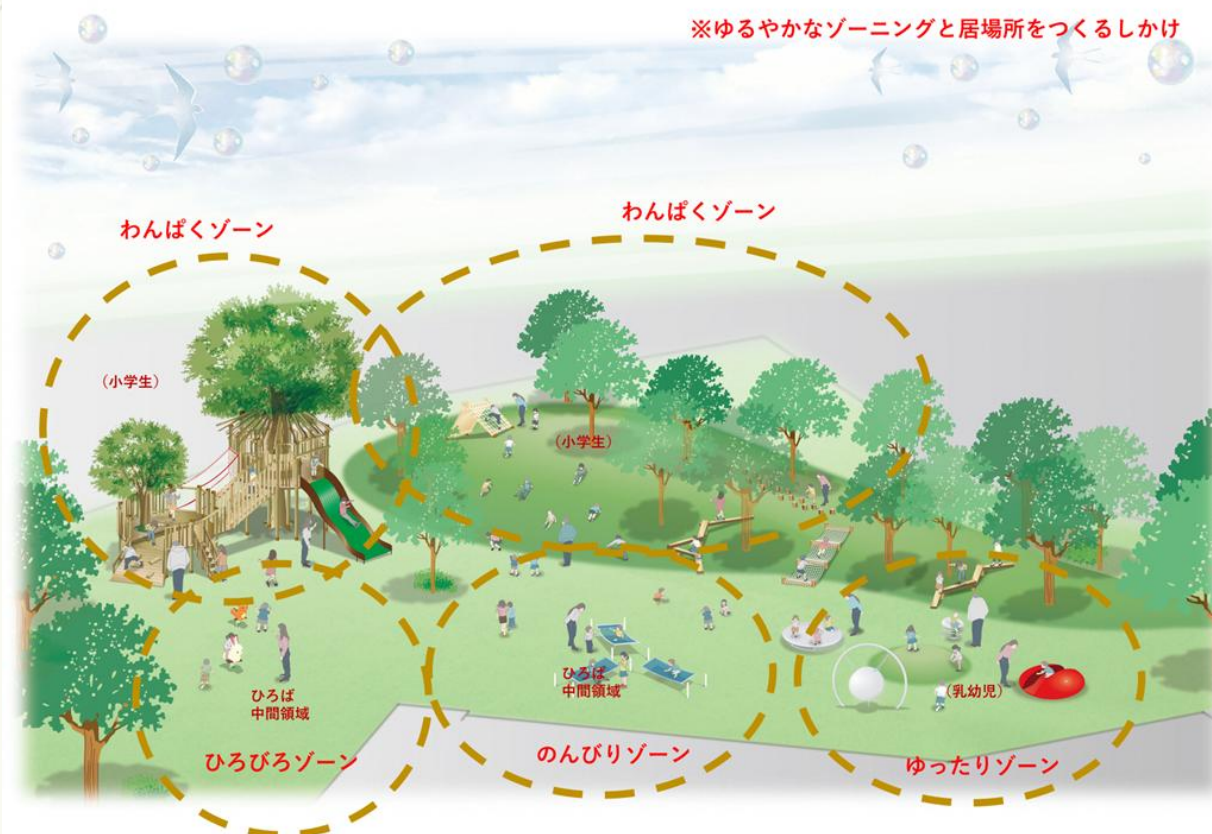


住民ワークショップでの主なご意見

- ・ 大型すべり台やアスレチックなどのメインとなるものがほしい
- ・ あつみの自然や景観を活用したものがよい

構想イメージへの反映

- ・ メインとなる大型遊具を配置
- ・ こどもが遊び方を自ら考える仕掛けづくり
- ・ あつみの自然をイメージしたゾーニング



② 屋外あそび場 配置イメージ

広場を設計する上でのコンセプトを掲げ方向性を明確化し、自然循環（食物連鎖）の流れを表現する配置を検討しました。

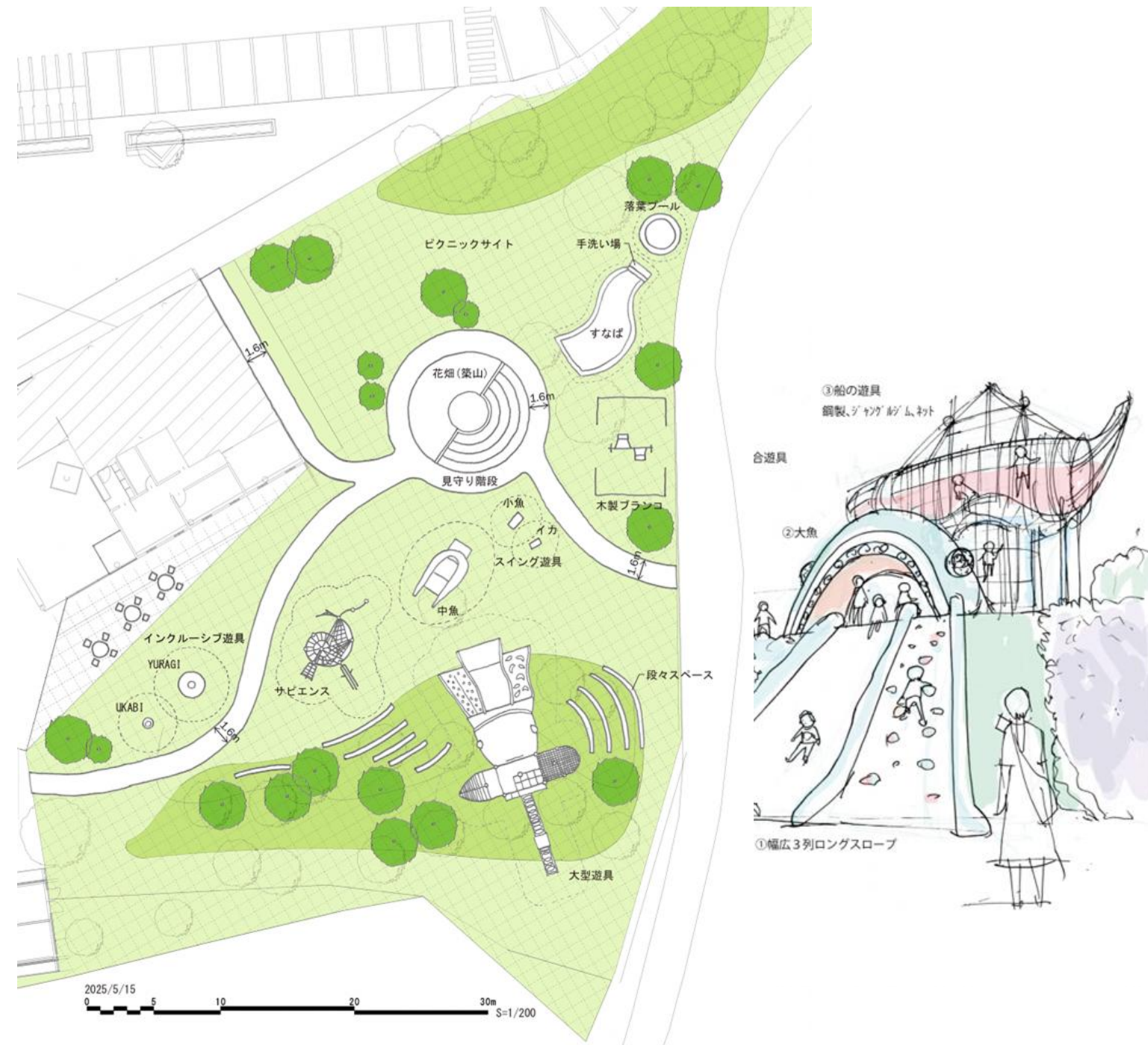
コンセプト ともに支え合う、あつみの海と森

屋外広場ワークショップでの主なご意見

- ・ メイン遊具はアイストップになるシンボリックな大型遊具が良い
- ・ 公園整備ではブランコ・すべり台・砂場が三種の神器と呼ばれ人気がある
- ・ 子どもを見守る大人の居場所が必要
- ・ 駐車場や親水広場に通じる動線を確保すると良い

配置イメージへの反映

- ・ コンセプトにリンクした、大きな魚と船をイメージした大型複合遊具を屋内外からもっともよく見える位置に配置
- ・ 人気のある遊具をコンセプトに沿った順序に配置
- ・ 遊具と見守りスペースを一体的に配置



③ 屋外あそび場 設計イメージ

コンセプトをより具現化するため、クエストマウンテンからプレイマウンテンまで自然循環（食物連鎖）をイメージした遊具を連ね、ワクワクする遊びの世界をつくる（山→川→海への流れ）ことを検討しました。

併せて、隣接地に鶴岡市が整備する鼠ヶ関川親水広場との一体感も生まれるよう動線を検討しました。



温海地域保育園説明会・アンケート 設計ワークショップでの主なご意見

- ・ 屋外遊びでは、すべり台やジャングルジムの複合遊具が人気
- ・ トランポリンや走り回れるおもいっきり身体を使って遊ぶことに夢中になる
- ・ 安心して遊ばせたい場所は死角がないことや遊び場と車道が区画されていることが重要
- ・ 遊具は詰め込みすぎず、子どもが遊びを発見できる仕組みが必要

設計イメージへの反映

- ・ コンセプトからデザインしたすべり台やネットなどの身体を使って遊ぶ複合遊具を設置
- ・ 見守る場所は日かげやベンチを設け、死角を生まないように設置
- ・ コンセプトに沿って、子どもの創造性やイメージが生まれる知育遊具や海をイメージした遊具を厳選して設置